

跡見玉枝 あきみ たまえ 日本畫家。安政五年四月、千八百江戸生れ、昭和十八年没（一八六一—一九四二）。本名勝。號不言庵、跡見勝子、跡見玉枝女。從姊跡見花蹊の塾に入る。長谷川（玉峯）畫ま、宮崎（玉緒）の和歌を學ぶ。明治十年京都女學校教員、十二年京都府畫學校教員勤、十九年跡見女學校兼其の女子職業學校教員を経、二十年家塾精華會を開く。二十七年メリカ漫遊。

著書『櫻の我が世』（井上波南筆記、昭和八年二月二日跡見家編輯）等。

